

# 食とグローバル化

## ～日本の農業を考える～



講師：大野 和興さん（アジア農民交流センター世話人）

日本政府は、貿易の自由化をさらに進め、TPP（環太平洋連携協定）へ参加しようとしています。すべての物品の関税がなくなれば、日本の農林水産業は大きな打撃を受けるだけでなく、金融や保険、医療などあらゆる分野で仕組みの変更を迫られます。これからの私たちのくらしと農村の行方について考えましょう。

日時：2011年 7月23日(土) 16:00 ~ 24日(日) 12:00

場所：関西セミナーハウス ・裏面地図をご参照ください。

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 2 3 電話：075-711-2115

参加費：10,500 円（1泊2食込み）・部分参加については事務局にお問合せ下さい。

\*FAX(裏面書式)、電話、電子メール等でお申し込みください。HPからも申し込みます。(着信確認をお送りします。)

\*申込締切：7月20日(水)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

・前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料が発生することがあります。

大野 和興さん OHNO Kazuoki

アジア農民交流センター世話人

1940年生まれ。日本農業新聞記者(1963~1972年)をへてフリージャーナリスト(農業・食料問題)。インターネット新聞日刊ベリタ編集長。アジア農民交流センター世話人。国際有機農業映画祭代表。反グローバル化の運動を組織しながら、村を歩き現場での共同作業をこころがけている。主な著書(共著含む)に『農と食の政治経済学』(緑風出版)、『アジア小農業の再発見』(緑風出版)、『日本農業を考える』(岩波ジュニア新書)、農民作家山下惣一さんとの対論『百姓が時代を創る』(七つ森書館)、『食大乱の時代 貧しさの連鎖の中の食』(七つ森、西沢江美子との共著)など。

## ◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付  
 16:00 ~ セッション 戦後日本の農業の歩み  
 ・アイスブレイク  
 ・日本の農家が辿った道（アクティビティと話）  
 18:00 ~ 夕食  
 19:00 ~ セッション グローバル化の中の日本の農・林・水産業  
 ・日本の食料自給率が語るもの  
 ・TTP（環太平洋連携協定）が何をもたらすか  
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食  
 9:00 ~ セッション これからの食と農  
 ・どうする!? 私たちの暮らし  
 12:00 終了予定

### 2011年度 開発教育セミナー <今後の日程・講師およびテーマ>

- 第4回 9月17日（土）～18日（日）  
 「炭坑労働者の暮らしと歴史を学ぶ旅 in 筑豊～フィールドスタディー～」  
 講師：犬養 光博（前日本キリスト教団福吉伝道所牧師）
- 第5回 10月29日（土）～30日（日）  
 「ありのままのわたしをいきる」ために～多様な性と生～  
 講師：土肥 いつき（セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表）
- 第6回 12月10日（土）～11日（日）  
 「原子力の“平和”利用って？～核と原発と温暖化～」

\* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) に随時掲載いたします。

### (財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2115 (9:00～17:00)

FAX 075-701-5256

Eメール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

運営委員長 小久保 正

プログラム係 都木かおり



### [第3回開発教育セミナー申込書]

\* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)	
名 前	(男・女) 所 属
住 所 〒	
電話 ( )	FAX ( )
電子メール:	@
通信欄	